

浦安市入船北保育園の園舎内に併設している地域支援センター「かるがもクラブ」では浦安市に住所のある0歳から未就学児とその保護者、現在妊娠中の方を対象に、親子が交流できる場や子育てに関する相談・情報の提供をしています。また、毎月さまざまなイベントを行い、センター内や園庭などで親子一緒に安心して遊べる空間を用意しています。地域のつながりとして浦安市社会福祉協議会（以下、社協）と連携をとり、「子育てサロン」にも園として参加しています。市内の複数個所に施設があり、気軽に立ち寄り保護者が子どもと遊べるような場所になっています。

## 1 社協主催の子育てサロンでの取り組み

私たちが現在、参加している社協主催の子育てサロンでは、保育士による親子で遊べる親子体操や赤ちゃん体操、絵本の読み聞かせ、栄養士による食事の講習会、看護師による子どもについての相談、社協の職員による手形等のイベントを行っています。家庭ではなかなか手を出しづらい、「こんな経験が出来る嬉しい!」と、保護者のニーズにお応えし、楽しんでその時間を過ごせる内容や取り組みを考えています。

親子で子育てサロンに参加するなかで、初めてそういった集まりに参加する方もいましたが、同じ年齢の子どもと触れ合う機会にもなり、初めてで緊張するという保護者の方もアットホームな雰囲気につられ、いつのまにか笑顔で保護者同士で会話をしている様子も多く見られました。保護者同士も、家庭の相談ごとや子育てに関する情報の共有等の会話が自然となされ、和やかで良い雰囲気のなか、運営を行っております。また、サロン

に参加していた親子が当園の支援センターに遊びに来たときに、子どもが「先生に会いに来たよ」と、笑顔で話してくれました。地域の子育て支援についてより広くつながりを持つことの大切さを感じました。

## 2 コロナ禍でも変わらぬつながり

コロナ禍で当園の支援センターは、一旦は中止になったものの、現在再開することができています。支援センターが再開すると、「家にいるだけでは大変でしたのでありがたいです」等の声をたくさんもらいました。平常時に子どもと一緒に利用できた場所が無くなるということは、保護者にとって、ご家庭で子どもと向き合うことがきつくなったり、気楽に育児相談が出来なくなる等、負担ははかりしれないことなのだと痛感しました。また、「(職員と)話が出来ただけで安心します。」と家でどこにも行けず話も出来ず過ごしていた胸の内を話してくださる保護者の方もいました。それでもまだこうした場所があることも知らずにいる家庭もあります。地域に潜在化している虐待リスクを未然に解消するためにも、支援センターの取り組みをいかに広く知っていただけるかが、今後の大きな課題だと思います。



子育て支援センターでの遊び